

日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

・「人生会議－アドバンス・ケア・プランニングをを考えてみよう－」っていうワークショップを行いましたー！

2019年7月17日に「人生会議－アドバンス・ケア・プランニングをを考えてみよう－」と題して、日野病院でワークショップを行いました。日野町内の保健・福祉・医療の関係職種の方々と一緒に話し合いながら、企画を練って、当日を迎えました。当日は、日野郡内の保健・福祉・医療の関係職種のほか、救急隊の方や学生さんたちも参加してくださいました。内容は、①アドバンス・ケア・プランニングを説明した動画を見ながら質問を考える、②症例検討、という構成でした。『いろいろな職種でお互いに考えをぶつけることで、「普段使わない言葉を使って考えを伝えないといけない」という状態になり、気づきがあったなあ』と感想をくれた方もいました。今回企画していく中で、「HACP（日野アドバンス・ケア・プランニング）を作りたい！」という気運も高まってきたので、3ヶ月後ぐらいに第2弾をする予定になりました！そのときは、またよろしくおねがいしますー^^



※アドバンス・ケア・プランニングを説明した動画はこれです
↓↓↓



鳥取大学医学部地域医療学講座
井上 和 興

<https://www.youtube.com/watch?v=J85NXDtdLgY>

・～医者の卵が日野で温められる～

医師になるために鳥大の学生は5年生と6年生で実習を受ける。5年生では全ての科（内科や外科など）を1-2週間ずつまわり、6年生になったら希望の科を1ヶ月まわって勉強する。我々地域医療学講座にまわってきた学生は日野病院で実習をしてもらう。1ヶ月まわる6年生には駆け出しの医師と同じレベルの仕事を課していて非常にタフな実習である。

その事前情報を知ってでもわざわざ選んでくる学生は非常に意識が高く、指導者から見ても学生とは思えない働きっぷりである。患者さんに良くなってもらうために寝る間も惜しんで夜中に勉強し、日中にその知識を活かしている。みんな1ヶ月経つ頃にはクタクタになっているのだが、それと同時に皮向けた雰囲気になっている。今年、日野の人たちに育ててもらった6年生は2020年4月から医師になる。日野の暖かみで孵化した医師たちはきっと良い医師達になると私は信じている。

鳥取大学医学部地域医療学講座

涌 波 優



夜中お互いにエコーの勉強をする学生